

## IC-7800～ファームアップについて～Ver. 1.20

このたびは、弊社ダウンロードサービスをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

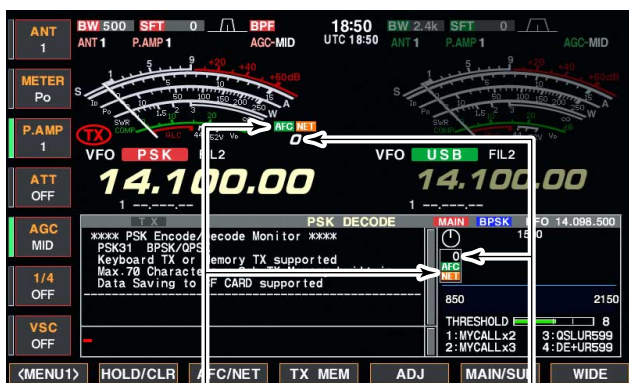
ダウンロードしていただきましたファームウェア(Ver.1.20)にて、IC-7800をファームアップしていただきますと、以下の機能、および設定が追加されます。

なお、本ファームウェアではVer.1.10で追加される機能も含めてファームアップしますので、初めてファームアップされる方は、Ver.1.10でのファームアップに関する案内についてもあわせてご覧くださいませようお願いします。

- ➡PSK DECODERでのAFCおよびNET機能の追加(新機能：☞P1)
- ➡PSKおよびRTTY FFTスコープ波形のアベレージング機能の追加(新機能：☞P2)
- ➡PSKおよびRTTY FFTスコープ波形のカラー設定の追加(新機能：☞P2)
- ➡SSB送信帯域幅の設定値の追加(☞P3)
- ➡メーター(Standard、Edgewise)指針の反応速度設定の追加(新機能：☞P3)
- ➡APFおよびCW PITCHの可変ステップの変更(☞P3)

### ■新機能について

#### ◇ AFC/NET機能について



AFC、NET表示

周波数差異表示部

PSK信号の同調に便利なAFC(自動周波数調整)機能を追加しました。また、AFC機能で同調させた周波数でPSK信号を送信するためのNET機能も追加しています。

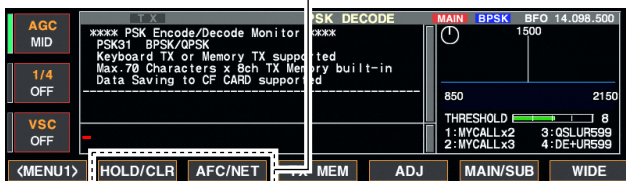
- [PSK DECODE]画面のMENU1を表示している状態で、[F-3](AFC/NET)を押します。
    - ・押すごとに、“AFC”(AFC ON)→“AFC NET”(AFC/NET ON)→“消灯”(AFC/NET OFF)→“AFC”(AFC ON)を繰り返します。
    - ・“AFC”または“AFC NET”表示とともに表示周波数と受信しているPSK信号との差を表示します。
    - ・AFC機能の動作範囲は、±15Hz(初期設定値)ですが、お好みにより、±8Hzも選択できます。(☞P2)
- 注意：目的のPSK信号がAFC動作範囲内にあっても、信号強度が弱いときなどは正しく同調しないことがあります。**
- 表示周波数とPSK信号との差を表示しているときに、[F-3](AFC/NET)を長く(約1秒)押すと、その差を表示周波数に加算、または減算します。

#### ●旧画面(Ver 1.10以前)



変更

#### ●新画面(Ver 1.20)



なお、[F-3]スイッチに“AFC/NET”機能を割り当てているため、ホールド機能と文字列の消去操作が、下記のように変更されました。

- ➡[F-2](HOLD/CLR)を押すごとにホールド機能をON/OFFします。
  - ホールド中は“HOLD”表示が点灯し、受信文字列をホールドします。
- ➡[F-2](HOLD/CLR)を長く(約1秒)押すと、それまでに受信した文字列が消去できます。
  - ・ホールド機能も同時に解除します。

◇ PSK DECODE SET(セット)の追加設定項目について

下記の設定項目が追加されました。

セット項目と初期設定値	設定内容
PSK FFT Scope Averaging      OFF	FFTスコープ波形表示のアベレージング機能(波形の平均化によるノイズ低減)を設定する <ul style="list-style-type: none"> <li>● OFF : 波形表示のアベレージング機能を使用しない</li> <li>● 2~4 : 波形表示のアベレージング機能を使用する</li> </ul> ※FFTスコープ波形で同調をとるかたは、“OFF”または小さい数値を設定することをおすすめします。
PSK FFT Scope Waveform Color [色選択] 51 [色選択] 153 [色選択] 255	FFTスコープ波形の色を設定する <ul style="list-style-type: none"> <li>● R(赤)/G(緑)/B(青)を調整し、カラーを設定する</li> </ul> ※[F-3](◀▶)で選択、[MAIN DIAL]で調整
PSK AFC Range                      ±15Hz	AFC(自動同調)機能の動作範囲を選択する <ul style="list-style-type: none"> <li>● ±15Hz : 表示周波数に対して±15Hz以内のPSK信号を自動で同調する。</li> <li>● ±8Hz : 表示周波数に対して±8Hz以内のPSK信号を自動で同調する。</li> </ul> 注意：目的のPSK信号が設定範囲内にあっても、信号強度が弱いときなどは正しく同調しないことがあります。

◇ RTTY DECODE SET(セット)の追加設定項目について

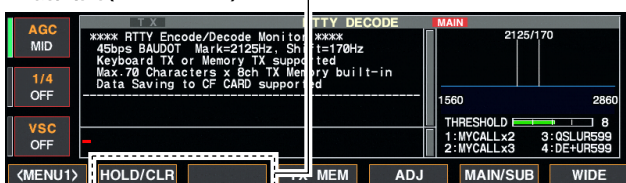
下記の設定項目が追加されました。

セット項目と初期設定値	設定内容
RTTY FFT Scope Averaging      OFF	FFTスコープ波形表示のアベレージング機能(波形の平均化によるノイズ低減)を設定する <ul style="list-style-type: none"> <li>● OFF : 波形表示のアベレージング機能を使用しない</li> <li>● 2~4 : 波形表示のアベレージング機能を使用する</li> </ul> ※FFTスコープ波形で同調をとるかたは、“OFF”または小さい数値を設定することをおすすめします。
RTTY FFT Scope Waveform Color [色選択] 51 [色選択] 153 [色選択] 255	FFTスコープ波形の色を設定する <ul style="list-style-type: none"> <li>● R(赤)/G(緑)/B(青)を調整し、カラーを設定する</li> </ul> ※[F-3](◀▶)で選択、[MAIN DIAL]で調整

●旧画面(Ver 1.10以前)



●新画面(Ver 1.20)



また、「RTTY DECODE」画面のMENU1画面でのキー配列が左図のように変更されています。そのため、ホールド機能と文字列の消去操作が、下記のように変更されています。

- ➡ [F-2](HOLD/CLR)を押すごとにホールド機能がON/OFFします。  
ホールド中は“HOLD”表示が点灯し、受信文字列をホールドします。
- ➡ [F-2](HOLD/CLR)を長く(約1秒)押し、それまでに受信した文字列が消去できます。  
  - ホールド機能も同時に解除します。

◇ SSB送信帯域幅の設定値について

「LEVEL SET」画面のSSB TBW (WIDE)、(MID)、(NAR)項目で、これまでの下限3種類、上限3種類に、200Hz(下限)と2800Hz(上限)の選択肢が追加され、下限4種類(100、200、300、500Hz)、上限4種類(2500、2700、2800、2900Hz)になりました。

◇ メーター(Standard、Edgewise)指針の反応速度設定について

扇形(Standard)とエッジワイズ(Edgewise)メーターでの指針の反応速度を、「DISPLAY SET」画面で選択できるようにになりました。

セット項目と初期設定値	設定内容
メーター反応速度の設定 <b>Meter Response</b> <b>MID</b>	メーター(Standard、Edgewise)指針の反応速度を設定します。 ● SLOW : 指針の反応速度を遅くする ● MID : 標準速度 ● FAST : 指針の反応速度を速くする (ファームVer.1.10以前での反応速度と同じです)

◇ APFおよびCW PITCHの可変ステップについて

APFとCW PITCHの可変ステップはともに25Hzでしたが、今回のファームアップにより、APFが10Hz、CW PITCHが5Hzステップで可変できるようになりました。

《ご参考》  
 デジタルIFフィルターの通過帯域幅を600Hz以上に設定しているときに「FILTER設定」画面で[CW PITCH]を操作すると、フィルターのセンター周波数は25Hzステップで追従します。  
 ※「FILTER設定」画面では、IFフィルターのセンターおよび上下限周波数を表示しています。